

2024.05.16. 木曜礼拝「レビ記にある宝物 清めにおける守り」

レビ記 1 1 章 1 節から 8 節 Mac 牧師

頭を下げ、共に祈りましょう。主よ、ありがとうございます。心から感謝します。主よ、私たちは、、、あなたが私たちの人生で、どのように動いておられるのか、気づけるでしょうか？ 主よ、小さなことにも、もちろん、大きなことにもです。悪いことの中にある良いことにも。私たちに会ってくださり、今いる場所で私たちに語ってくださいますか？ 主よ、私たちは今夜、あなたの御言葉を聞くためにここにいます。私たちがそれを受け取れますように。あなたの御言葉を用いて、私たちの人生に語ってくださいますように。それが励ましであれ、主よ、希望であれ、愛であれ、憐れみであれ、恵みであれ、何であれ。私たちは聞いています。マック牧師をあなたに感謝します。彼の家族を見守り続けてください。主よ、主イエスよ、彼があなたのための働きを続ける力を聖霊を通して与えてください。イエスの御名によって、アーメン。

主を褒め称えます。どうぞご着席ください。ありがとうございます。では、こんばんは。この雨、雨、雨、雨の夜に。あなたが嵐を乗り越えて来られ、私たちと共にいてくださって本当にうれしいです。J.D.ファラグ牧師に代わって、カルバリー・カネオへようこそ。多くの訪問者がおられますね。あなたを歓迎します。なぜ、、、ここに来てくださいましたね。良かった。1人か2人は、そうだと思います。違うかもしれませんが。でもあなたが来られて祝福です。オンラインで参加の皆さんも歓迎します。いつもは、J.D.牧師が「ダニエル書」を一行ずつ教えていますが、彼が不在の間は、ミニシリーズと呼んでいるものを続けます。まさにその通りなので。しかしその前に、次の祈り会について、お知らせします。6月4日、午後7時からここで行います。可能であれば、いらしてください。一緒に信者の体として、共に祈りましょう。私たちには祈るべきことがたくさんあります。感謝すべきことがたくさんあるのと同様、そのことも忘れてはいけません。ですから、来れるなら、ここで一緒に祈りましょう。6月4日午後7時からこの礼拝堂（聖域）で、です。では、今夜の学びを始める前に、恵みの御座に行き、主の祝福をお願いしましょう。ではご一緒に。

天のお父様、私たちは、あなたが続けておられるすべてに感謝します。私たちがあなたの御言葉に入る時、あなたが特別な形で、私たちとここで出会ってくださるようお願いいたします。あなたの御言葉の中にある富を掘り出すことをお許しください。私たちがあなたに近づき、あなたをよりよく知り、そのおかげでよりよくなりますように。私たちに与えられたこの時間は、惜しみなくあなたにお返しします。すべてあなたからお借りしている時間で、そのことをあなたに感謝します。その上にあなたの祝福をお願いいたします。キリスト・イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。

それでは！ 今夜は、「レビ記」のミニシリーズセッション3をします。そして今夜、私たちが扱う「レビ記」の宝物は、おもに11章からです。そして、このサブタイトルは、『清めにおける守り』です。このすべてがどのように展開するのかを理解するのを願います。なぜなら、私にとって、真の生ける神がいかにか神聖なご存在であるかを示す、最も素晴らしい証拠のひとつだからです。私たちは神のご本質に畏敬の念を抱かなければなりません。さて、ご存知の方も多いと思いますが、11章から15章までは、最も議論を呼ぶテーマが含まれています。特に、イスラエルの民に課せられた食事の規定について。このことは、いくつかの理由から、多くのクリスチャンにとって未だに謎となつてしまっているようです。そうなのはなりません。しかし、私たちは皆、この書全体、その中心テーマが『神聖さ』であることを忘れてはなりません。それが助けになるはずで、ところで、その神聖さは昔も今も期待されていて、もちろん、こんにちには違う形です。で、イスラエル民族に関係するのが、これらすべての厳しい規制を定めた神の命令は、神のみのための理由を含み、また、多くの肉体的な面や、霊的な面を対象とした理由も含みます。ですから考えてください。そのすべては神への神聖さの下にあります。これらの食事の掟、体の清め、様々な病気への対処はすべて、イスラエル民族を聖別するための包括的な措置でした。繰り返します。彼らはすべての人々の中で、主にとって特別な宝となるはずでした。たとえ同じ民の出身であっても。これがしばしば見失われます。イスラエルという国家についてだけでなく、私たち人類全体として。私たちは1つの血を引いています。これが事の真実です。それで、何が問題なの？ 気になりますよね？ イスラエルという国は、現在取り囲まれているのと同じ異教の世界から生まれました。そうでしょ？ そして、神と神の聖なる定めに従うことで、イスラエル民族は祝福され、地上の国々は、ヤコブ（イスラエル）の神に注目するようになる。これらすべては、イスラエルが暗闇に生きていたすべての国々の光となるための一端を担っています。そして、イスラエ

ルの神に対する反応に基づき、これが、真の生ける神の贖いの恵みと、神の正しい裁きについて、これらの国々に示し、教えることとなります。これがポイントでした。彼らは、神の真理の御言葉をもたらすため、全人類の贖い主を指し示すため、建てられ、選ばれた国でした。そして、信じようと信じまいと、神の守りと純粋さは、実に様々な形でそれを実現しておられます。今夜、私たちが見ていく規制は、人間の手によるものではありません。違います。また、環境保護のための社会的構造による、自然修正の一環でもありません。違います。これらは、神が神の目的のためだけに設定し、定められたものです。ですから、私たちには掘り出すものが 11 章にたくさんあります。私たちが、そのポイントを明確にするものを多く引き出し、神の御言葉のご計画全体へのより深い感謝を与え続けてくださることを祈ります。今からするのは、11 章の最初の 8 節の、4 節ずつの 2 枚のスライドを用意しますので、一緒に読んでください。私と同じ聖書バージョンでないなら。その後、他の章に関する主要なポイントを 1 つ取り上げ、究極の清め手のイエスの事例で祈りながら締めくくります。どうです？ ということで、今日の章の 1 節から、

ーレビ 11:1ー (口語訳)

主はまたモーセとアロンに言われた、

ーレビ 11:2ー (口語訳)

「イスラエルの人々に言いなさい、『地にあるすべての獣のうち、あなたがたの食べることができる動物は次のとおりである。

ーレビ 11:3ー (口語訳)

獣のうち、すべてひずめの分かれたもの、すなわち、ひずめの全く切れたもの、反芻するものは、これを食べることができる。

ーレビ 11:4ー (口語訳)

ただし、反芻するもの、またはひずめの分かれたもののうち、次のものは食べてはならない。すなわち、らくだ、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

ーレビ 11:5ー (口語訳)

岩たぬき、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

ーレビ 11:6ー (口語訳)

野うさぎ、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

ーレビ 11:7ー (口語訳)

豚、これは、ひずめが分かれており、ひずめが全く切れているけれども、反芻することをしないから、あなたがたには汚れたものである。

ーレビ 11:8ー (口語訳)

あなたがたは、これらのものの肉を食べてはならない。またその死体に触れてはならない。これらは、あなたがたには汚れたものである。

ただ読んだだけで、皆さんこんな感じでしょ。「どうなってるの？」じゃあ、どういうことか言いましょう。実は、私はちょっと腹が立つんです。皆さんはどうか知りませんが、私は岩たぬきのバーベキューを食べようと思っていました。このたぬき。岩たぬき。どうします？ こういうものを何匹か探すべきだと思います。私は調べました。岩たぬき。これは一体何か？ 不細工な小さな動物。でもそれを丸焼きにしますよ。ー (笑) ー いえ、マジです。これが一覧です。そしてもちろん、それ以外にもありますが、しかし、冗談はさておき、発見すべきこと、考えるべきことはたくさんあります。この書を自分で学ぶときに、それを活

用すべきです。まず、1節と2節をより詳しく見てみましょう。「主はまたモーセとアロンに言われた、」神が誰に向かって語っておられるのか分かりますか？ モーセだけでなく、アロンにも。振り返ってみると、まず神はモーセに、アロンと祭司たちがすべきことについて語られました。その時、長老たちが何をすべきかをモーセが話すために、神がモーセに語られました。そして今や、神は、民がすべきことを民へ告げるためにモーセとアロンの二人に語りかけられた。これは神の秩序に関するもう一つのポイントです。私たちの神は秩序あられるお方です。それが混沌としているなら、それは神のものではありません。そしてモーセとアロンが、イスラエルの子らにこう言います。「地にあるすべての獣のうち、あなたがたの食べることができる動物は次のとおりである。」で、私はこの時点で考えるのは、これはある程度のカルチャーショックになるはずで、というのも、考慮すべきは、イスラエルの子らは、1年も前にエジプトから導かれたばかりです。皆さん、ついてきていますか？ エジプトを出て以来、彼らの行いのほとんどは、まだエジプト人の行いでした。だから、あの金の子牛の事件（出エジプト32）は、民に受け入れられたのです。それが彼らの知っていることだから。忘れてならないのは、聖典によれば、モーセはエジプト人のあらゆる知識に長けていて、言葉も行いも力強かった。しばらく時がたっていても、それがモーセの知っていたことです。ですから、彼らの食生活や生活様式の多くが変わろうとしていたと言えます。しかし、繰り返しますが、神がなさったことは、民を神聖に区別することでした。それでメニューは？ よろしい。見てみましょう。

ーレビ 11:3ー

獣のうち、すべてひずめの分かれたもの、すなわち、ひずめの全く切れたもの、反芻するものは、これを食べることができる。

これが選択です。野の獣の、厳選された肉。留意ください。これらの動物は、すべて草食動物に分類されること。植物を食べる動物。ベジタリアン。空の鳥に関しても、似たようなことが見られるでしょう。海の生き物については、また後で指摘します。そこで疑問となり、よく浮かぶのは、なぜなのか？ なぜこの方法なのか？ あなたが見つかる答えは、あなたを様々な方向へと導くでしょう。尊いものもあれば、そうでないものもある。しかし、シンプルな答えは、神がそう仰ったから。しかし、シンプルにしつつも、神が適用されたであろういくつかの理由を見てみましょう。結局は神聖さがすべてであることを覚えながら。でも、私たちはこの問題に決着をつけ、さらに重要なこととして神に栄光をもたらすような、いくつかの重要な説明を見つけられると信じます。まず第一に、血は神聖なものです。先週話したように、人類はその墮落以来、このことを知っていました。血は神にとって生命の象徴です。聖書で初めて血について言及されたのは、アベルの殺害に関係します。「創世記4章10節」に収められている神の御言葉の意味を考えるべきです。神の御言葉を読みます。

ー創世記 4:10ー（新共同訳）

主は言われた。「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる。」

この御言葉、聞いてます？ 繰り返します。血の中に生命がある。「レビ記17章11節」にそのことが具体的に書かれています。これが、魔術やブドゥー教などで血が使われる理由です。何かあるからです。神はそれを禁じておられます。すべて悪霊的です。しかし、何が清いか、汚れているか、何が許され、何が許されないかの権限は神にあります。私たちはこんにち、主に受け入れられる唯一の血は、主から生じた血であることを知っています。以上です。ですから、他が血を使って何かをするのは悪霊的です。つまり、雑食性動物や肉食性動物、腐肉（屍肉）食動物や肉食動物は、食べられる生き物から除外されていて、その合理的な答えのひとつが、他の動物の血を食べることになるからです。それが分かりますか？ そして、ある種族がその種の部類に入れば、そのグループ全体が除外されました。で、動物の選択に関して、私たちが繊細であるべきニュアンスがあって、また、この書のテーマ全体が神聖さであることも忘れてはなりません。繰り返しますが、それを決定するのは神のみです。それは見過ごせません。それを中心に置けば、私たちは決して軌道から外れません。誰が何を言おうと。もしそうでないと、神がお選びになられた理由に当てはまらない理由を探すでしょう。すると、「すべてを霊化させる」という果てしない穴を下っていくことになります。でもそれじゃ正しくありません。文脈を無視しています。私たちは、神に栄光をもたらす理由のためにこのことを見ているのです。それがその目的です。でも、そのため、主の神聖さについて主が発信しているメッセージを、私たちは中心に置かねばなりません。すると、私たちは道を踏み外すことはありません。神がこ

のような方法で動物を選んだと考えられるもうひとつの理由は病気にかかりやすいからで、それが広がるから。人間の墮落以来、罪と死がこの世に入り込んだと言われています。それに伴い、人間が知る限りのあらゆる病気が発生します。では、これは理由の一つですが、唯一の理由ではありません。周りの国々は何でも食べていたからです。彼らを全滅させたわけではありません。ですから、それが唯一の理由ではありませんが、主がこのように彼らを選んだ理由の一端を担っていることは間違いないようです。しかし、考えれば、これこそ神が素晴らしい理由です。なぜなら、神はしばしば、私たちが見て掘り起こし、引き出せるような多くの理由を、ご自分の理（ことわり）に詰め込んでおられるからです。神の偉大さを如実に表しておられます。私たちが見ているもう一つの理由は、異教徒の礼拝に使われる生き物がいたため、それらの動物や昆虫が除外されたのです。ですから神の御思いは、イスラエルの子らを聖別なされるにあたり、これを明白な方法、決定する時として用いることだった。彼らはそうした行為とは何の関係もない。イスラエルは、エジプトなどの国々が神々として崇拝していた生贄を捧げ、真の生ける神を崇拝していました。エジプトには牝牛の神がいました。エジプトには牛の神がいました。エジプトには山羊の神がいました。エジプトには鳩の神がいました。そして、神々が無限にいます。醜いカブトムシの神までいました。しかし、イスラエルは、唯一の真の神に仕えるよう召されました。指示されたことを実行することで、主の祝福を前にして、誰もがそのことに気づいたはずで、それは注目されていたでしょう。世であるエジプト、誰もが彼らの後を追っているのだから。神ってすごいよね？ 私たちが考慮すべきもう一つの側面は、清い肉がイスラエルの子らを積極的に生け贄制度に従わせることです。それはすでに確立されていました。これが分かりますか？ 調整する必要はなかった。この「聖別」のプロセスは、彼らの捧げ物のせいで遮られたでしょう。途切れません。問題ありません。すべて適合しているから。この全てが分かりましたか？ 私にとってこれは、神の御心を垣間見たに過ぎません。私たちは、神が聖別なされるにあたり、このすべてはイスラエルの子らを守るためだったと考えることができますが、それ以上のものです。私たちはそれを理解する必要があります。「レビ記」を読み進めると、主がイスラエルの子らにある生き物を忌み嫌うべきもの、あるいは嫌悪すべきものと見なすようにと告げられたことは、ほとんどの方がご存知でしょう。それで留意ください。それらの生き物は、イスラエルの子らにとって忌むべきもの、憎むべきものでした。これは非常に重要な点です。聞いてください。「創世記 1 章 31 節」に記されている神ご自身の御宣言を忘れてはならないからです。神の御言葉が仰られます。

一創世記 1 : 31一 (新共同訳)

神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

神がお造りになった全てが。これが分かりますか？ 神は忌まわしいものをお造りにならなかった。ありませんでした。罪は神のものを変質させました。今でもそうです。しかしそれでも、神によるこれらの制約がイスラエルの子らを守っただけではなく、彼らは、この忌まわしく憎むべき生き物を保護もしていました。考えてみてください。まず、ノアに遡ると、彼は、すべての清い動物を7匹ずつ、そして汚れた動物を2匹ずつ取るように言われました。(創世記 7 : 2 参照)

だから神には、それらが汚れている理由があらわれます。しかし、神の聖なるご目的のためにまだそれらを維持される。汚れた動物について語られる「レビ記 11 章 8 節」に戻ると、このすべてが関係して来ます。神の御言葉を読みます。

一レビ 11 : 8一 (口語訳)

あなたがたは、これらのものの肉を食べてはならない。またその死体に触れてはならない。これらは、あなたがたには汚れたものである。

食べてはいけないだけでなく、その死骸に触れてはいけない。そして、この一節によって、神は、被造物のためにご自身による保護を、民の清めの中に示されます。これがご方法です。イスラエルの子らは、忌まわしい動物を狩る必要がなくなるからです。彼らはその死骸に触れることができなかつたから。彼らは死骸を使えなかつた。皆さん、ついてきてますか？ そのどれも触れてはいけないものでした。死んだら。い換えれば、食用にできなかった動物たちは、イスラエルの民にとって生きていたほうがよかつたのです。そ

の多くがさまざまな用途に使われました。どこに殺す理由があります？ 神がイスラエルの民になされていたことが分かりますか？ 他の国々と比べて。そして、このコンセプトは空気の汚れにも波及します。ワシやフクロウ、からすの類などの鳥類は実際に保護されていたはずですが。種の絶滅はしばしばその種の過度の利用によって生じます。分かりますか？ そして、海の生き物に関して言うと、今すぐ取り上げたほうがいいでしょう。これは非常に簡単だから。ウロコがあれば問題なし。しかし、そうではなく、這いずり回っているなら、問題なしではありません。イスラエルの家により、それらは忌み嫌われ蔑まれるものでした。そして、それは厳しい言葉で、私の心を本当に傷つけます。私が何を言っているかわかりますか？ だって、エビをトレイごと全部ぱくつけるほど大好きだから。なによ！ このみんな、エビが好きじゃないですか。そうでしょ？ しかし、繰り返しますが、物事の大枠は、神聖さです。それはまた、イスラエルの神に対する清さ故に、言わば環境的にも物理的にも守られます。特に彼らが生きていた時代には。ですから、民を聖別し、聖なる存在とするため、神はこれらの生き物に関し、すべてを備えてくださったことでしょう。必要なら、人にそれらを殺す権利と能力を与えて。こう書かれているからです。地を治め、地を支配せよ。(創世記 1 : 28)

それは大地を虐待するという意味ではなく、大地を従わせるという意味です。神の創造物を支配する。人間の墮落後でも。問題は、私たち人間があまりにも頻繁に食欲さを内包する罪に支配されていることです。で、私たちがすることとは？ 人間は権力とさらなる権力のために、あらゆるものをどこまでも狩り、殺し、作り、利用する。それを考えてみてください。従順な人々になって、ここで神には従順な民がいて、神の下での従順、それはまさしく彼らを聖別したでしょう。彼らは、おびき寄せられるようにしてすべてを殺しているわけではなく、仕事だからとかで、それやあれやすめるのですか？ 違います。彼らは従順で、神の指導の下で洗練されていた。彼らの人生は、シンプルで祝福に満ちたものだったでしょう。また、この生き物のリストで驚きだったのは、これらの動物がどこに生息しているのか調べられることです。中東にいることがわかります。正に、イスラエルの子らがいいた場所、定住するところです。だから、動物に関しても、神の御言葉は地理的な位置を示しています。そしてまた、彼らがほとんどの食用で殺す動物は、すべて家畜化されたものでした。考えてみてください。それらは完全に飼いならされ、支配されていた。野生の動物ではありません。そしてこんにちの従順ではない人間同様、周囲の国々は、スポーツのために殺しました。しかし、繰り返しますが、神のこの命令で、イスラエル民族がそうすることに何の益もありません。それは、彼らを聖なるものとし、彼らを聖別する手助けです。その一方で、ご自分の被造物のあらゆる側面を保護しながら。それが神です。もちろん、死んだ動物が誰かの上に落ちたり、誰かに触れたりした場合、あるいは死んだ人間を誰かが触れた場合、神はそのような事態に備えておられます。神の御言葉に従って自分を清めるためのメカニズムがありました。しかし、意図的にそうすることは、起こるはずもなく、行われるはずもありませんでした。もしそうなら、どんな理由でも、自分を清めるために適切な措置を講じる必要があります。皆さん、聞こえましたか？ だから、この聖句とともに心に留めておいてください。そして、私たちの神がご自分の民に対していかに長く忍耐しておられるかが分かります。私たちには、このことが特に重要な意味を持つ、2つの傑出した記述があります。どちらもサムソンです。最初のは、「士師記 14 章」8 節と 9 節に記されています。神の御言葉を読みます。

一士師記 14 : 8 (口語訳)

日がたって後、サムソンは彼女をめとろうとして帰ったが、道を転じて、かのししのしかばねを見ると、(誰かが殺したのです。) ししのからだに、はちの群れと、蜜があった。

一士師記 14 : 9 (口語訳)

彼はそれをかきあつめ、手にとって歩きながら食べ、父母のもとに帰って、彼らに与えたので、彼らもそれを食べた。しかし、ししのからだからその蜜をかきあつめたことは彼らに告げなかった。

サムソンよ、なぜ言わなかったのか？ おお、理由は分かっている。そういう種の動物の死骸に触ることを神が禁じておられることを知っていたから。皆さん、ここまで大丈夫ですか？ 神は彼の力を取り去られなかった。また、神は怒りに任せてサムソンになさることは何もなかった。この時点では、聖典には全く見あたりませんでした。全くありません。私たちの神は、私たちが従わないときでさえも、憐れみ深くご忠実だから。皆さん、ここで何が起きたか分かりますよね？ そして、1 章進んで、14 節と 15 節に次のように書

かれています。神の御言葉を読みます。

一士師記 15 : 14 (口語訳)

サムソンがレビにきたとき、ペリシテびとは声をあげて、彼に近づいた。その時、主の霊が激しく彼に臨んだので、彼の腕にかかっていた綱は火に焼けた亜麻のようになって、そのなわめが手から解けて落ちた。

一士師記 15 : 15 (口語訳)

彼はろばの新しいあご骨一つを見つけたので、手を伸べて取り、それをもって一千人を打ち殺した。

これは新鮮な顎の骨です。つまり、ロバは最近死んだのです。おそらくまだ皮が残っているはずですが。言ってみただけ。そして律法によれば、その動物は汚れているとみなされました。でも繰り返しますけど、主の霊が彼に臨み、ペリシテ人退治の間、彼と共におられました。ですから主はそれを許されました。しかしながら、先ほども言ったように、「レビ記」をもっと読み進めると、その詳細が見えて来ます。死体や遺体に触れた後、どのように清められるのかが。サムソンに関する最後の記述の通り、サムソンが神の御言葉に従って自らを清めたとは聖典のどこにも書かれていません。これは、「レビ記」が聖典全体を照らしている光の一種です。皆さん、ついてきていますか？ そして、この記述を読むと、ああ、もっと悪くなります。サムソンが神に対して示した態度を見ると、ええ、私はこの罫にはまったことがあります。もしかしたら、皆さんの多くもそうかもしれませぬ。どうやって？ 神の御言葉を無視する。それでも主は、奇跡的な勝利を与えてくださる。そして、私たちはそれを自分の手柄にする。でも、まだ終わっていない、もっと助けが必要だということに気づく。だから私たちは主に叫び求める。すると？ 主は助けてくださる。そして、主が私たちを助けて下さった後、私たちは自分の名前前で記念碑を建てる。でしょ？ 容易くそうなります。プライドがそうさせます。では、この後、神はサムソンに何をなさるのか？ 神がなさることを知っていますか？

サムソンに 20 年間、イスラエルを裁くことをお許しになります。それを考えてみてください。で、質問は、彼は神の義の御力によってイスラエルを正しく裁いたのか？ それとも、神が与えられた力でだけか？ 誰にわかるでしょう？ 絶対に見るべき箇所ですが、祈りつつ、要点をつかんでください。では、食べ物テーマに戻りましょう。フムフムと食べ終わることにしましょう。おいしい昆虫を。何です？ 昆虫を除外しないでください。すべての昆虫の中で、イスラエルの子たちは 1 種類しか食べられませんでした。それは「レビ記」11 章、22 節と 23 節に記されています。神の御言葉をお読みします。

一レビ 11 : 22 (口語訳) 一

すなわち、そのうち次のものは食べることができる。移住いなごの類、遍歴いなごの類、大いなごの類、小いなごの類である。

一レビ 11 : 23 (口語訳) 一

しかし、羽があって四つの足で歩く、そのほかのすべての這うものは、あなたがたに忌むべきものである。

では、イナゴのおやつを食べたい人はいますか？ いませんか？ イナゴを食べたことがある人はいますか？ 誰もいませんか？ あなたは何を見逃しているか分かっています。いいえ、真剣に。いえ、私はこれについて述べたいのです。私は本気です。理由は、あなたがどう考えるかは別として、イナゴは世界のあつる地域ではよく知られていて、イエメン、北アフリカの多くの地域、アジアの一部、もちろん、イスラエルでも、食料とされています。資料があるので、読ませてください。おお～、イナゴ。宣伝みたいだね。売り込みたい。店を開こうと思っているんだから！！ 一 (笑) 一

一引用一

「イナゴは優れたタンパク源である。構成成分の約 62%がタンパク質源で、17%が脂肪である。イナゴには、ヨウ素、リン、鉄、チアミン、リボフラビン、ナイアシンのほか、微量のカルシウムとマグネシウムも含まれる。イナゴの炭水化物レベルは非常に低いので、アトキンスやパレオタイプのダイエットに適してい

る。多くの人が、調理されたイナゴは燻製風味のベーコンに似ていると表現する。」おいおい、聞きましたね？ 皆さん、ハマるはずですよ。言っているでしょ。私たちはみんな、地元民（カマアイナ）になれます。いい考えだと思います。ロコモコじゃなくて、イナゴモコです。ー（笑）ー

おお、なんてこと。が、いや、これがそういう事です。イナゴについてもう一つ取り上げたいのは、バプテスマのヨハネについてで、彼について書かれています。ほとんどの人が知る記述です。いくつかの事を見るのに、「マタイの福音書」3章4節を読みます。神の御言葉をお読みします。

ーマタイ 3：4ー

このヨハネはらくだの毛の衣をまとい、腰には革の帯を締め、その食べ物はいなごと野蜜であった。

まず気づくのは、ヨハネがラクダの毛をまとっていること。ラクダは死ぬと、律法によれば、汚れているとみなされます。しかし、これが神の御言葉が詳細を与える理由です。ヨハネはラクダの毛をまといましたが、ラクダの皮では全くありません。その違いがわかりますか？ ラクダの毛は抜けます。ラクダの毛が抜けたら、彼らは衣類を含め無数のものを作りました。死んだ時だけ、役に立ちません。生きている時ではありません。多くの人がそこでつまずきます。ですから、それを最初からはっきりさせたかったのです。家族の皆さん、宜しいですか？ 主をほめたたえます。この箇所について次は、私たちの新しい好物についてです。会衆：うん。ー（笑）ー イナゴ！！ 聖書にこの詳細があるのは、再び理由があります。これは、バプテスマのヨハネが彼の召しと神への心がどれほど献身的であったかを示すためです。それは、ヨハネが真にこの世から区別された存在であるという宣言でした。ヨハネは、神の奉仕のためにあらゆる点で特別に扱われました。すべての記述から、彼はナジルびとで、確かに、彼は預言者でした。イエスは仰います。

「女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネより偉大な者は現れませんでした。」（マタイ 11：11 参照）

私たちの神は嘘をつくことはおできになりません。この人がどのような心を持っていたかを考えてください。神のここのために。当時の多くの人々は、律法を重んじていませんでした。しかし、バプテスマのヨハネは御父の務めが全てでした。明らかにヨハネの発言が示しています。「律法では、私はこれを食べることができる。私はそれを律法に従って食べる。」非常に（世から）離れています。それがすべてを物語ると思います。私たちは、これら動物の側面について、霊的に多くの適応を見出せます。よく出てくるのが、清い野の獣に置かれる条件についてです。ひずめが分かれています、反芻せねばなりません。この「反芻」は、私たちが神の御言葉に近づく際にどのように応えるべきかに関係します。私たちは神の御言葉を噛み、味わいます。動物たちが食べ物を再び飲み込むように。この表現はこう言えます。「神の御言葉を黙想する。」これがその背景にある考えです。分かれたひずめについて。これはしばしば、こう見なされます。私たちが霊的歩みをどのように行うべきか。ひずめの分かれた動物たちが歩く時、そのひずめは世を踏みつけたので分かれた。私たちにあって、私たちが歩む時、私たちが歩く世からの分離分割を象徴するはず。これに関して、もっとたくさん例を見つけることができます。それ自体、そのような霊的方法で適応することに問題はありませぬ。しかし、それ自体によって、大きな問題になり得ます。それらはしばしば神が語られているより広いメッセージから遠ざかってしまうからです。再び、神ははっきりとイスラエルの子らに仰います。「わたしはあなたがたの神、主である。あなたがたは自分の身を聖別し、聖なる者とならなければならない。わたしがあなたがたの神、主であるからだ。」（レビ 20：7）

ですから、私たちは皆、聖典にある例えに注意せねばなりません。私たちは細心の注意が必要です。昔の善意の尊敬される注解者たちの多くが、イスラエルと教会を分けなかったのがわかります。これが、ほとんどの旧約聖書が彼らに霊的化の意味を与える理由です。良いものもあれば、良くないものもあります。非常に悪いものもあります。そのことを肝に銘じてください。多くの霊的指摘に関係がないわけではありません。違います。それが意味するのは、いかなる人によるいかなる種類の霊的関連性も、神が意図されたメッセージを覆い隠すことはできません。それは大きな間違いです。聖書の学びでよく起こります。気をつけてください。そうしないと、神の御言葉から遠ざかります。イスラエル民族にとって、このすべてが構築されました。この国が神にとって聖なるものとなるために。この国に注目することで、世界は唯一の真の神を知るようになります。それが希望です。彼らは、神の御言葉に従って自分たちの清められた生き方を理解しまし

た。神は彼らの命と彼らの土地を守ってくださいました。それは魅力的です。そうあるべきです。すべて、彼らが区別されていたからです。神にとって聖なるものである。(レビ 27 参照)

私たちがキリストのもとで聖なるものとされ区別されるように。清い食べ物と清くない食べ物についてですが、こんにち、この律法は神の教会には関係ないことを私たちは知るべきです。再度、言わせてください。この律法は神の教会には関係ありません。それがあつ食べ物か他の食べ物より優れているというわけではありません。おお、私はイナゴを食べますけど、皆さんのことは知りません。ー (笑) ー

しかし、クリスチャンとして、私たちはそのような制約を受けません。私たちは受けません。神が造られたすべては良いのです。ですから、そのベーコン召し上がれ。私は食べますよ。ー (笑) ー

「第一テモテへの手紙」4章4節と5節、この真理が記されています。神の御言葉をお読みします。

ーI テモテ 4 : 4ー

神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。

ーI テモテ 4 : 5ー

神のことばと祈りによって、聖なるものとされるからです。

これがわかりますか？ で、どこが問題です？ 自制する宗派もあります。あなたがそうしたいなら、自分が見つけて選んだことだから良いのです。しかし、なぜ他人にくびきを負わせるのですか？ 神は決して御言葉を撤回されません。神は嘘をつくことがおできにならず、何事にも驚かれないからです。神が何かが良いと言われたら、それは良いのです。神が制限される時、どんな理由であれ、それは良いのです。神が仰るのだから。しかし、神の被造物に関して、神のすべての被造物は良いのです。5節の御言葉に、注目せずにはられません。

ーI テモテ 4 : 5ー

神のことばと祈りによって、聖なるものとされるからです。

それは神の御言葉によって区別されるのです。神の御言葉によって清められるのです。「レビ記」に関して、この清め、あるいは清くあり続けることは、食べ物に関するだけではありませんでした。読み進めると、儀式があるのがわかります。産後の清め、衣服の清め、ハンセン病やその他身体の膿などに対処する清め。神の御言葉に従って、彼らが神の御前で自らの存在を受け入れられる者とされたのは、清めです。彼らは皆、神の御言葉によって聖別されるのです。彼らのように、私たちの清めは、神の御言葉からもたらされます。もっと良いのは、御言葉。神がどういふお方か。私たちが思い起こさねばならないのは、私たちを清めるのは、神の御言葉によって清められることで、これらすべてがイエスを指し示します。これが真理です。イエスはそれを証明するように、人々に何度もこう言われました。

「行って、じぶんのからだを祭司に見せなさい。」(ルカ 17 : 14 参照)

これが聖典の中にその詳細が記されている理由です。最後に、「ルカの福音書」17章13節と14節の2節と共に締めくくりましょう。神の御言葉をお読みします。

ールカ 17 : 13ー

声を張り上げて、「イエス様、先生、私たちをあわれんでください」と言った。

ールカ 17 : 14ー

イエスはこれを見て彼らに言われた。「行って、自分のからだを祭司に見せなさい。」すると彼らは行く途中できよめられた。

再度、重要なのは、彼らが律法によって清められ、聖くされたのではないということ。彼らはキリストの愛によって清められ、聖くされたのです。イエスは律法よりも優っておられます。イエスを指し示すために用

いられるのが律法です。ご起立ください。カポノ、上がってきてください。祈りましょう。これで興味を持って、聖典を学び続けることを願います。神を讃えてください。天のお父様、主よ、あなたのメッセージ、真理の御言葉を感謝します。私たちがそこから多くを学び、あなたが私たちの心に促されたことを受け止め、それによって生き、より良くなるよう祈ります。この暗く倒錯した世を歩くより強いクリスチャンになれますように。もしかすると、このような教えは、あなたの御言葉にもっと深く入り、あなたにもっと近づきたいという私たちの興味を呼び起こします。ですから主よ、あなたのしもべたちのためにそうしてください。早くにあなたを求める知恵を与えてくださったことを、前もって感謝します。このメッセージを聞いたすべての人たちを、独特な方法で祝福してください。これからも良い（信仰の）闘いを続けることができますように。イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7